令和8年度（2026年度） 熊本県教育功労（優秀教職員）表彰　決定者功績一覧

【教職員】　　マスター部門（49歳以上）

No.	氏名	学校名	職名	主たる功績分野	功績の概要
1	まるめ　よういち 丸目　洋一	宇土市立花園小学校	指導教諭	特別支援教育	●スーパーティーチャー（特別支援教育）としての優れた指導力 毎週1回支援者の動きや子供たちへの支援を効果的に進めるため「シフト会議」を主宰し、情報共有はもちろんのこと、特別支援学級担当者の学びの場となっている。また、学級担任、学級支援員、管理職とも連携を密に図り、支援体制の構築や助言等を継続的に行っている。管内特別支援教育の充実・発展のために、巡回相談員、校内研修講師、学校訪問指導員、県教育委員会の研修等の講師などを務めてきた。学校外からの相談にも日常的に対応しており、勤務校では、通常学級の児童の様子にも配慮しながら、専門機関とのつなぎや今後の支援の在り方についても具体的に言及し、助言を行っている。
2	よしやま　みか 吉山　美香	玉名市立小天小学校	養護教諭	学校保健	●学校保健における優れた指導力 けがをした児童だけでなく、児童同士のトラブルの対応や悩みを抱えた児童の話もしっかり聞くなど、児童に寄り添った対応をしており、児童が安心して訪れる保健室運営を行っている。外部機関との連携が必要と思われる児童には、迅速にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと保護者、児童をつなぎ、早期支援に努めている。学校運営においても、常に学校全体を捉えた視点で物事を考え、担任などに的確な支援・助言を行っており、同僚教員からの信頼も厚い。玉名郡市学校保健会の事務局時代に県学校保健研究協議大会の運営に携わるなど、学校外の学校保健の推進にも貢献している。
3	おがた　みえ 緒方　美恵	大津町立大津小学校	教諭	その他（地域と連携した学習）	●地域と連携した学習(ふるさと学習)の充実 日本人学校勤務を契機にふるさと愛を育む学習として、震災復興の象徴であるゾロ像の誕生日祝いに合わせた訪問を継続して実施している。さらに、震災から復興した阿蘇立野地区でのJRを使ったフィールドワークや住民との交流など、児童の感性に響く教育を実践し、その様子は地元テレビ局でも報道された。クラブ活動では、地域のゲストティーチャーを招いて大津町の伝統工芸「梅の造花」の体験活動を行い、交流を深めている。国際的な視点とふるさとを結び付けた学習は、児童の視野を広げ多様な価値観を尊重する態度の育成に貢献している。
4	しまだ　めぐみ 島田　恵	南小国町立りんどうヶ丘小学校	教諭	学習指導	●「安心と信頼にあふれ、高め合う学級づくり」に優れた指導力 熊本の教職員像である「教職員としての基本的資質と専門性」を有し、児童の可能性を伸ばす学級経営を行っている。特に日々の児童との対話を通して児童を理解し、よさを認め、活躍できる機会を意図的に設定している。児童ができないことがあれば、できるようになるまで「認め、ほめ、励ます」言葉かけを行い、後押ししている。誰に対しても公正公平な指導から児童との信頼関係を構築している。また、国語科教育の授業研究を中心として、学習の実践的指導力も秀でており、県立教育センターの研究協力員や各校で研究主任を担う等、阿蘇郡市内の児童の学力向上に長年寄与し続けている。
5	やすだ　きみ 安田　希美	甲佐町立甲佐小学校	教諭	学習指導	●英語指導における優れた指導力 小学校英語専科として複数の小学校を兼務し、英語がわかる、英語が好きと感じる児童の育成に努めてきた。令和7年度からは「上益城郡英語授業づくりプロジェクト（小学校）」のプロジェクトリーダーとして英語の授業を担当する職員への研修を担い、管内小学校の英語力向上に指導力を発揮している。各学校を回りながら、児童が英語に触れる機会を増やすために掲示物や英語での放送など、全ての学年の児童が英語に慣れ親しむことができる工夫を重ねている。県外や外国の児童とのオンライ交流にも取り組み、英語への関心、意欲の向上とともに学んだ英語を実践的に活用する機会を創出している。
6	いわさき　ゆみ 岩﨑　由美	八代市立麦島小学校	指導教諭	学習指導	●スーパーティーチャー（学習全般・学級経営）としての優れた指導力 八代地区教科等研究会で、長きにわたり研究を重ね、地域の国語教育の推進に大きく寄与してきた。また、2校の小学校で通算3年間研究主任を務め、児童の小さな変化や成長のサインを決して見逃さない授業実践を積み重ねた。令和5年度にはスーパーティーチャーに任命され、自校の教育実践を高めるだけでなく、県や八代管内の研修会等において講師を多数務めるなど、地域の教科指導・学級経営のリーダーとして多大な貢献を続けている。課題のある学級や特別な支援・配慮を必要とする児童に対しても深い愛情と極めて高い指導力を発揮し、児童、保護者からも信頼を得ている。
7	じょうやま　まさひろ 城山　政博	水俣市立水俣第一小学校	教諭	学習指導	●理科教育における優れた指導力 理科専科教員としての経験が豊富で、日々、児童が主体的に学ぶ授業実践を積み重ねている。導入や課題設定等を工夫することで、児童が問いや解決の見通しを持ち、実験・観察等を行いながら夢中になって課題解決に取り組む姿が見られる。学習規律についても丁寧に指導を行い、落ち着いた雰囲気の中で授業が展開されており、授業づくりを若手教員に広めるなど、後進の育成にも努めている。これまでに、芦北・水俣郡市教科等研究会理科部会や県小学校理科教育研究大会において、公開授業や基調提案等を行い、芦北管内はもとより、本県の理科教育の充実・発展に寄与している。

No.	氏名	学校名	職名	主たる功績分野	功績の概要
8	なかにし まり 中西 万里	球磨村立球磨清流学園	教諭	学習指導	●学習指導及び学級経営に優れた指導力 児童への積極的な言葉掛けや居場所づくりを徹底し、家庭と丁寧かつ迅速な連携を行うなど、優れた学級経営力と高い学習指導力を有しており、児童、保護者、地域住民から高い信頼を得ている。また、防災教育研究や「読み解く力」の研究を主導し、地域の災害リスクを反映した実践的なカリキュラムの構築や各教科の学習関連表の作成などの実践的な取組から、指導力の向上に向けた教職員の意識改革と教育力の向上に貢献した。複数の目で児童を見守り、児童が相談しやすい雰囲気づくりを目指して始めた「チーム担任制」の取組においても、主任としてチームを牽引し取組を推し進めている。
9	のじま まき 野島 真樹	天草市立稜南中学校	教諭	特別支援教育	●特別支援教育コーディネーターとしての指導的役割と貢献 長年にわたり特別支援教育に携わり、卓越した専門性を身に付けている。校内では特別支援教育コーディネーターとして生徒支援の中核を担い、外部機関と連携した包括的な支援体制を定着させた。また、個別の指導が必要な生徒への通級指導を通じて生徒の自己肯定感の向上に尽力している。地域ではリーダーとして他校の通級教室開設支援や研修を主導し、天草全体の特別支援教育の底上げとネットワークの活性化に寄与した。さらに県内でも講師活動や視察対応を通じて実践的なノウハウを広く還元し、県全体の特別支援教育の質向上と後進の育成において先駆的な役割を果たしている。

【教職員】　　フレッシュ・キャリア部門（48歳以下）

No.	氏名	学校名	職名	主たる功績分野	功績の概要
1	わたなべ 渡部　さくら	山鹿市立菊鹿小学校	教諭	学習指導	●児童の実態に即した学習指導 日々の学校生活で児童に「今日も学校に来て楽しかった」という満足感を味わわせることを目標にしてきた。授業が「わかる」「楽しい」と思う児童を育てることを大切にしている。個別の声かけを大切にしており、一人一人の実態に応じて、伸びやよさを認め、褒め、励まし、伸ばす実践を積み重ねてきた。道徳教育を核とし、心を見つめる時間として、全員に発言の機会をつくり、心を育み、人と人がつながっていく学級経営をしている。児童が安心して学べる学級づくりを基盤として、特別支援教育のノウハウも取り入れながら学力の定着、向上に尽力している。
2	みつなが　ちほ 光永 智穂	山鹿市立鹿本小学校	教諭	道徳教育	●道徳教育推進の優れた指導力 校内の道徳教育推進教師として、学校の道徳教育の全体計画を管理職や学年主任と検討し、すべての教員の授業実践力を高めるため、校内研修や授業研究会を通して、具体的な提案やアドバイスを行っている。また、道徳科の授業に講師を招聘したり、評価の仕方の研修を行ったりしている。令和7年度には、県教育委員会の道徳教育用郷土資料「熊本の心」の「たった一基のほう納灯ろう」の学習構想案の執筆者を務めた。令和8年の1月には、山鹿市教育会道徳部会で、授業を公開し優れた提案を行った。
3	すぎたに　ゆうた 杉谷　優太	菊陽町立菊陽北小学校	教諭	学習指導	●算数科教育を中心とした授業改善と校内研究の推進 長年にわたり算数・数学教育における指導法の改善及び校内研究主任としてリーダーシップを発揮しており、地域全体の教育力向上に多大なる貢献を果たしてきた。菊池郡市や八代市における教科等研究会、教育サポートセンターの要職を歴任し、多数の代表授業や実践発表を通じて指導法の普及に努めた。また、各種教育論文を執筆して特選等を多数受賞してきたとともに、令和8年度には熊本県算数教育研究大会での代表授業を行うなど、その理論と実践には極めて高い評価を得ている。多角的かつ優れた実践を展開し、若手教員を育成するなど、他の教職員の模範となっている。
4	こうじもと　たけし 糀本　武史	大津町立護川小学校	教諭	学習指導	●学習指導に優れた指導力 研究主任として、児童の全国及び県学力・学習状況調査の現状と課題を分析して研究テーマと仮説を設定しており、今年度は、対話活動の充実を目指した授業実践を提案し取組を進めている。職員向けの研究だよりで研究の方向性をわかりやすく示し、板書コンクールや授業支援アプリのロイロノート活用のための情報交換を積極的に提案し、豊富なアイデアで校内研修をマネジメントしている。教務主任の経験を活かして、教務と連携し一体となった取組ができており、研究主任として通算7年間、校内研修のPDCAサイクルを実践したことで、持続可能な研究体制を確立した。
5	ごたんだ　みちの 五反田　美智乃	甲佐町立龍野小学校	指導教諭	学習指導	●スーパーティーチャー（道徳・算数）としての優れた指導力 県内、上益城管内の道徳及び算数科において、教科指導の中心となって活躍している。これまで、目の前にいる子どもから始める授業づくり、学級づくりを信念として、児童が生き生きと学ぶ指導を心掛けてきた。研修講師としても、目の前にいる子どもの姿から授業を考える大切さや、教師も楽しくなる授業の観点から、道徳教育の研修会、熊本の心の授業づくりの協力者、管内の校内研修講師、学校訪問指導員を務めている。本町においても、若手教職員の研修講師、中学校区学力向上研究発表に係る授業づくりアドバイザー、協力者及び指導助言者として日々活躍している。
6	ふじもと　すみこ 藤本　純子	山都町立中島小学校	養護教諭	健康教育	●健康教育等に優れた指導力 県養護教諭研究会では、令和5年度から研究委員、令和8年度から研究委員主査として、養護教諭の資質・能力向上のための研修会運営に関わり、健康教育の充実・発展に寄与している。上益城管内でも長年学校保健会の事務局を務め、健康教育の推進に尽力した。学校では、児童への就寝時間・朝食・悩みなどの健康生活アンケートと個別面談、PTA研修会での情報モラルや利用実態と健康との関連啓発など、保護者と連携した望ましい生活習慣の実践に成果をあげている。特別支援教育コーディネーターとしても、個別面談、担任との情報共有、町支援員やスクールカウンセラーの活用で組織として対応している。
7	ひぐち　かな 樋口　佳菜	八代市立太田郷小学校	教諭	学習指導	●主体的な学びを引き出す授業改善の推進と実践 研究主任として「熊本の学び」を基盤として校内研修を企画・運営し、課題であった授業改善の共有と職員の主体的参加のため、学年の枠を越えた意見交換グループを編成し、互いの授業実践を共有する場を設定した。その結果、児童の主体的な学びを実現する授業づくりを学校全体に広げた。さらに、八代市教育サポートセンター部員として授業改善の視点や実践を市内に発信するなど、地域全体の教育の質の向上にも寄与している。八代市教育論文において直近10年間で5回特選を受賞するなど、実践と成果を継続的に発信し、市の教育力及び教職員の指導力向上に大きく貢献している。
8	よねだ　ともみ 米多　朋美	人吉市立人吉西小学校	教諭	学習指導	●研究主任としての優れた指導力 前任校では、令和6・7年度県教育委員会指定「熊本の学び」の指定校4校で組織する研究推進委員会に所属し、「授業の質の向上部会」の研究主任を務めた。研究主題「自ら問いを発し、学びを深め、未来を切り拓く子供の育成」のもと、問いを生み出す導入の工夫、深い学びへと導くゆさぶり活動の工夫等の実践を進め、校区全体での子供主体の授業づくりに貢献した。現任校でも研究主任を務め、前年度までの成果と課題を生かしながら校内研修を企画・運営している。年度初めには、県の事業である「学校支援訪問」において、自ら授業を公開することで、学校全体の授業力向上を図った。

No.	氏名	学校名	職名	主たる功績分野	功績の概要
9	まつお　かよ 松尾　佳代	上天草市立登立小学校	養護教諭	学校保健	●学校保健・学校安全・教育相談等で学校及び地域へ貢献 学校保健では、感染症対策や児童の個別面談、保護者への啓発活動を継続的に実施し、健康課題に取り組んだ。助産師等の専門家との連携による「命の授業」を年間計画に位置付け、自他を尊重する心や生命への畏敬の念を育む教育の充実を図った。学校安全では、学校の避難所機能について総点検を行い、自治会や地域住民合同の避難訓練を実現した。教育相談体制の充実では、対人関係や社会生活の技能を学ぶソーシャルスキルトレーニングを導入し、困難や逆境でも前向きに対応できる力の育成を学校全体で推進し、児童の心の成長を支える教育活動の充実に顕著な成果をあげた。
10	はやし　こうた 林　剛太	天草市立本渡南小学校	教諭	生徒指導	●学校教育活動推進の核として優れた指導力 勤務した学校で、教務主任、生徒指導担当等の中心的な役割を担い、学習指導、生徒指導及び人材育成に貢献した。特に、生徒指導担当として、不登校問題に対しては、教職員で児童一人一人のチャットルームを立ち上げ、情報共有を図り、複数体制による対応等、組織として未然防止や課題改善・解消を推進した。学習指導では、「学習規律の徹底」「教室環境の整備」「よりよい学び方の育成」等、確固とした学習基盤を形成し、児童一人一人にとって安全・安心な学級経営に取り組むとともに、児童一人一人に応じた指導・支援を行い、学級全体を主体的な学びができる集団として育成した。
11	おかべ　りゅういちろう 岡部 隆一郎	苓北町立志岐小学校	教諭	生徒指導	●生徒指導に優れた指導力 児童の自発的・主体的に自らを成長・発達させる力を育てる生徒指導を実践しており、生徒指導のリーダーとして、管理職や担任、専門職員等と綿密な情報共有を図り、「チーム学校」による組織的対応を主導してきた。また、学習規律を定着させ、児童が落ち着いて対話的な学習に取り組めるようにするとともに、大学教授等を招聘しての「聴き合い学び合う授業改善」を通じて誰一人取り残さない教育を推進している。取組を通して若手育成や同僚性の構築に寄与し、地域全体の課題解決や未然防止体制の構築にも尽力しており、児童や保護者、地域の方々から絶大な信頼を得ている。
12	えがわ　よしたか 江川　佳貴	宇土市立鶴城中学校	主幹教諭	生徒指導	●生徒支援、理科教育、校内研究の充実に優れたリーダーシップ 生徒支援教育部会のリーダーとして、生徒一人一人の実態や背景を多角的に分析し、全職員が一体となって対応できる組織的な支援体制を確立した。また、生徒一人一人の心情に寄り添い、規範意識を育む毅然とした指導と保護者の切実な思いや願いを誠実に受け止めた丁寧かつ迅速な対応は、生徒や保護者、地域、職員から厚い信頼を得ている。理科教育においても教育センターでの指導主事経験を生かし、最新の教育動向を自らの授業に取り入れ、時代に即した質の高い学びを提供している。さらに、研究主任への的確な助言及び協働した研究を推進し、校内研修を通して全職員の授業力向上を力強く牽引している。
13	なかはら　てつじ 仲原　徹治	宇城市立不知火中学校	教諭	生徒指導	●生徒指導、学年経営及び教科指導に優れた指導力 生徒指導主事として、生徒一人一人に寄り添った丁寧な指導を基盤に保護者や関係機関との連携を密にし、安全・安心な学校づくりに尽力している。生徒の課題に対して管理職や教職員との連絡調整を適切に行い、組織的に対応する体制づくりを推進している。学年主任として、日常生活や学年集会を通して規範意識や自己肯定感の向上に努め、落ち着いた学年集団の育成に貢献している。さらに、若手教員への助言や育成にも積極的に取り組んでいる。数学教育の充実や基礎学力向上に向け、校内はもちろんのこと、管内ワーキンググループのメンバーとして寄与した。
14	まつざき　ひろし 松﨑　寛志	荒尾市立荒尾第四中学校	指導教諭	学習指導	●スーパーティーチャー（数学）としての優れた指導力 玉名・荒尾中学校数学教育研究会において、長年リーダーとして研究を推進しており、令和7年度の県中学校数学教育研究（玉名・荒尾）大会では、4つの公開授業の企画段階から指導助言を行った。授業では、生徒の興味関心を高め、生徒同士で学び合い課題を解決する「シンあらおベーシック」の考えをもとに、学んだことを生かして生徒が主体的に、できるまで徹底して取り組む授業を実践し、家庭学習「ちりつもノート」を活用した個別指導を行っている。管内の学力向上に向け、自主研修会の開催や校内研修等で模範授業を定期的に行い成果を共有するなど高いマネジメント力とリーダーシップを発揮している。
15	よねだ　ゆうき 米田　祐貴	菊池市立旭志中学校	教諭	学習指導	●英語科の学力向上に向けた優れた指導力 令和5、6年度に菊池郡市の英語授業づくりプロジェクトのリーダーとして、英語が「好き」「わかる」「できた」と生徒が実感できる授業づくりに向けてチームをリードし、令和5年度には、外国語指導助手とともに公開授業を行い、郡市の他の英語教師に様々な授業改善の提案を行った。英語の授業では、言語活動の充実と基礎的・基本的事項の定着を図り、生徒の英語の興味・関心を高める授業を行った。英語検定では、生徒の学習意欲を高め、積極的に支援を行ったことで、令和7年度に3年生の7割の生徒が英検3級以上を取得し、学力向上を図ることができた。
16	おおつか　ひろし 大塚　寛史	大津町立大津中学校	教諭	学校体育部活動	●保健体育・部活動指導に優れた指導力 勤務した学校において体育主任、部活動担当を務め児童生徒の体力向上をはじめ、「児童・生徒のわかる、できる授業」の実践を行った。また、「熊本の学び推進プラン」や教育事務所の授業づくり5つの心得の視点を踏まえた授業実践や県立教育センター協力員として公開授業により実践を広めた。陸上駅伝競技に携わり全校生徒の体力の底上げや大会に向けた管理とサポートの結果、全国大会入賞に貢献した。担当のサッカー競技では、在任中4度の九州大会出場を果たし、生徒の指導に当たっては、一貫して挨拶や荷物整理等を徹底し、人間育成に努めた。

No.	氏名	学校名	職名	主たる功績分野	功績の概要
17	さかた　けい 坂田　桂	阿蘇市立阿蘇中学校	主幹教諭	学習指導	●英語教育における優れた指導力と優れたリーダーシップ 長年、英語教育において高い専門性と卓越した指導力を発揮し、生徒の主体的な学びを引き出す授業を実践している。また、県教育委員会の指導主事として教職員の授業改善に積極的に関わり、研修の企画・運営や具体的な助言を通して授業力向上に大きく貢献してきた。その取組は学校内外から高く評価されている。今年度から主幹教諭と研究主任（文科省指定校区内4小・中学校研究コーディネーター）を兼任し、本校の教育研究にリーダーシップを発揮している。校内研修の企画・推進において的確な方向性を示し、教職員の協働的な学びを促進するとともに、授業改善に向けた実践的な取組を校区内各学校に浸透させており、学校全体の教育力向上に大きく寄与している。
18	い　きみか 井　紀美佳	甲佐町立甲佐中学校	教諭	学習指導	●理科教育における優れた指導力 身近な事物・現象を授業の課題として設定し、科学的に探究する力の育成に力を入れている。授業では、基礎基本を身に付けさせるために、導入時に既習内容の振り返りテスト、学習後のまとめテストを行い、結果を見える化することで生徒の授業への意欲を向上させた。授業展開では、生徒のつぶやきを取り上げ、全体で共有することにより、対話を中心とした思考力・表現力を育成している。また、上益城郡教科等研究会中学校理科部会の理事を8年務め、昨年度は県中学校理科研究大会発表において、上益城郡の理科のリーダーとして研究授業づくりに尽力した。
19	きくかわ　ゆき 菊川　由季	氷川町立竜北中学校	教諭	学習指導	●社会科における優れた学習指導力 1年間を見通した自作の学習資料の作成や学習資料を活かした効果的なノートの活用方法を行い、生徒が見通しをもち学習に取り組むことができるよう工夫し、学習意欲の向上につなげている。各種調査結果から生徒の実態を分析し、毎時間の振り返りや課題に応じた小テストを行うことで定着の向上を図り、学力調査では全国平均正答率を大きく上回る結果を残している。令和7年度は、研究主任として「熊本の学び」研究発表の中心となり、校内全体の学力向上に尽力した。八代教育研究会中学校社会科部会の副部長を数年にわたり務め、管内の中学校社会科教育の充実にリーダーとして貢献している。
20	はまだ　とおる 濵田　亨	芦北町立佐敷中学校	教諭	学習指導	●授業改善（数学）における優れた指導力 数学科の授業において、生徒が主体的に学習に取り組む態度や問題解決の過程や結果を振り返り、統合的・発展的な問題を見い出す力の育成に取り組んでいる。管内の数学教育推進の要として、授業改善を提案しながら優れた指導力を発揮している。この取組は、令和7年度県学力・学習状況調査において、1年：5．3ポイント、2年：1．8ポイント全国を上回る結果となり、生徒の学力向上にも寄与している。また、管内はもとより、県・全国の各数学研究会において実践発表や授業公開を行い、県下の数学科教育振興に大きく貢献している。
21	まつした　りょう 松下　綾	熊本県立熊本農業高等学校	学校技師	環境整備	●教育環境及び労働環境の整備 勤務した複数の学校で、施設設備の修理技術や環境整備に必要な各種資格を取得してきた。現勤務校は農業用トラック等の車両に用いるガソリン等の危険物を一定量保管する事業所であり、本職員は消防法で定められた危険物保安監督者として重要な業務を担い、本校の安全管理に貢献している。また、校内の安全確認を毎日行い、危険箇所や物品保管場所等を把握することで、施設設備の修理を迅速に行っている。造園土木施工に係る知識を有していることから、校内の広大な敷地の樹木等の剪定を丁寧に美しく仕上げている。生徒の安心安全な教育環境及び職員の労働環境の整備に貢献している。
22	くわさき　ひろゆき 鍬﨑　弘幸	熊本県立鹿本農業高等学校	教諭	地域関係機関連携	●グローカル教育（地域理解×国際理解）の推進 高い倫理観と使命感をもって生徒に深い愛情を注ぎ、学習・生活両面で丁寧かつ誠実な指導を行うとともに、学年主任として各担任を的確に支え、学校運営や人材育成に優れたリーダーシップを発揮している。「鹿農生は無限大」の理念のもと、総合的な探究の時間を核とした学年運営を推進し、地域おこし団体や観光協会等との連携による番所の棚田での稲刈り体験や里山教育、山鹿市豊前街道の探訪、阿蘇神社や熊本地震ミュージアムでの復旧・復興研修など、地域と連携した教育活動を推進してきた。さらに、これらの学びを台湾の姉妹校との交流へ発展させ、生徒の地域理解と国際理解を大きく深化させている。
23	はしもと　てつや 橋本　徹也	熊本県立大津高等学校	教諭	部活動指導	●先進的な部活動改革と地域連携による野球普及への貢献 生徒指導主事の経験による強固な責任感と生徒への深い理解があり、人権尊重と主体性の育成を根幹に先進的な部活動指導を実践している。部員不足の解消に注力し、令和5年夏の県予選においては、独自の指導法を用いてチームをベスト8進出へと導いた。ICTによるデータ分析や週休2日制、頭髪自由化等の環境改善を進めたことで、学業との両立と入部の障壁打破を実現した。さらに、幼児や小学生を対象とした野球教室など、地域を巻き込んだ普及活動を展開し、野球人口の減少抑制と未来の競技者育成に尽力した。
24	よねむら　ひろゆき 米村　宏之	熊本県立水俣高等学校	教諭	関係機関連携	●生徒の学びを社会につなぐ、新たな人材育成のカタチ 民間経験と一級建築士の専門性を活かし、「社会に開かれた学び」を体現する卓越した企画力・実行力を備えている。地域と連携し、生徒が山林での伐採から材料調達までを経験し、伝統的なものづくりを推進する「Wood Connect Project」の立ち上げや、地域課題である生産性向上・担い手確保に着目し、ICT施工やドローン・AI技術を持つ人材育成のため、全国初となる産学官連携「建設DX推進プロジェクト連携協定」の締結を主導した。これらの取組により全国工業高等学校協会表彰などの受賞や2級建築施工管理技士補試験で約8割の合格率達成、生徒が県内建築関係へ進路を決定するなどの成果をあげている。

【教職員組織】

No.	教職員組織名	構成員所属学校名	主たる功績分野	功績の概要
1	南小国町教育研究会養護教諭等部会	南小国町立中原小学校 南小国町立市原小学校 南小国町立りんどうヶ丘小学校 南小国町立南小国中学校	健康教育	●ケーブルテレビ等を活用した効果的な健康教育の取組 「歯の健康」などの動画のシナリオから小道具の準備、配役、演技までを部会の養護教諭が担当し、これまで4本の番組を完成させてケーブルテレビで放映し、大きな反響を得ている。また、部会の指導支援により児童生徒がテーマを分担し、「食育ピクトグラム」（動画入りポスター）を完成させ、食育の興味関心や充実につながった。各種研修会の合同開催による系統性を持たせた取組や「就学時健康診断」を3小学校合同で開催する働き方改革、歯科指導による劇的なう歯保有率の大幅な減少などの取組が児童生徒の心身の健やかな成長につながり、保護者はもとより町全体への啓発に大きく寄与した。
2	御船町立木倉小学校教職員一同	御船町立木倉小学校	体育指導	●長年の体育科における優れた実践・研究 長年にわたり体育指導研究の充実に努め、「全国学校体育研究優良校」「熊本県体力向上優秀実践校」など受賞歴も数多い。これまで、児童の実態と教師の願いや指導内容を考慮した学習計画を作成し、運動のこつやポイントを教師と児童が共有する場面や児童同士が学び合う場面等を設定した授業づくり、全校体育の実施、日常的に運動に親しむ運動遊びのコーナーの設置等の実践を継続することで、9割以上の児童が「体育は楽しい」と体育の授業を肯定的に捉えている。現在もすべての児童が運動の喜びや楽しさを味わう体育学習を目指して取り組んでいる。
3	上益城郡教科等研究会小中道徳部会	上益城郡教科等研究会道徳部会中学校部長（嘉島町立嘉島中学校長）ほか 上益城郡教科等研究会道徳部会小学校部長（御船町立七滝中央小学校長）ほか	道徳教育	●伝統と実践に裏打ちされた道徳教育研究の推進 文部省指定道徳教育推進校の研究を源流に、35年に及ぶ活動により道徳授業の指導過程を確立した。事前研究を重視し、部会員の実践と意見交換で授業改善を重ねており、県内を牽引する道徳教育の人材を育成している。現在、指導教諭として3名が県主催研修等で模擬授業を行って指導したり、各学校の校内研修の講師として活動したりしている。令和6年度県道徳教育研究大会（上益城大会）では、本研究会が中心となり、独自の指導過程を全県に提案・発信し、道徳授業のレベル向上に貢献した。
4	芦北町立田浦小・中学校教職員一同	芦北町立田浦小学校 芦北町立田浦中学校	学習指導	●小中連携の取組をとおした授業改善 令和5年度から小中合同校内研修を実施し、互いの取組の成果や課題を明確にしながら効果的な指導方法等の研究を深めてきた。令和6・7年度に県教育委員会「熊本の学び」研究指定校を受け、問いから振り返りまでを体系化した小中共通学習スタイルの導入、小学校の生活科から中学校卒業までを見通した総合的な学習の時間等のカリキュラムを作成し、自分の学習や行事での活動を記録したキャリア・パスポートの活用に取り組んだ。また、中学校教員の小学校での授業や小学生が中学校の授業を体験することで、児童生徒に「自ら課題を見つけ、主体的に取り組む姿」が見られるようになった。
5	苓北町立都呂々小学校教職員一同	苓北町立都呂々小学校	地域連携	●児童の主体性と協働性を柱とした「地域とともに歩む学校」 令和5年度からエディブル・スクールヤード（食育菜園活動）の取組として、地域の方々の協力により学校の空き花壇・空き地を菜園として利用し、野菜を育て学校給食の食材として利用するなど食育や地域と学校との緊密な連携に結び付けてきた。さらに、老人会を中心とした見守り隊の活動や一保一小の強みを生かした保小一貫教育を推進している。令和7年度の創立150周年記念式典では、地域一体で記念ソングやカルタを制作し、児童が披露した。地域との合同運動会では地域の方を講師に伝統の踊り「苓北じゃっと節」を復活させ、地域に感動を与えた。令和8年度には70名もの住民が応援に駆けつけるなど、強固な絆を築いている。
6	熊本県立鹿本農業高等学校教職員一同	熊本県立鹿本農業高等学校	働き方改革	●働き方改革の推進 学校を支援する外部専門家を積極的に活用し、教職員の負担軽減と教育の質向上に取り組んでいる。年5日の学校閉庁日、毎週水曜日の定時退勤日、原則水曜日を部活動休養日とし、長期休業中に職員研修を集中させた。職員の連携により体制を整え、ライフスタイルに応じた時差出勤を取得しやすくした。ICT活用では、データ共有化・ペーパーレス化を推進し、1年生への副担任2名配置、特別支援教育委員会や人権教育推進委員会の毎週開催により、生徒への支援を強化した。結果、教職員の9割が働き方改革の進展を実感し、教職員の満足度、健康、意欲の向上につながった。